

「甲賀圏域フィードバックカンファレンス」について

近年、医療機関の機能分化が進められ病院の在院日数短縮化が進む中、患者が円滑に在宅医療に移行するためには、地域の医療、介護、福祉などの多機関多職種連携が更に重要となる。

今年度、甲賀圏域では「フィードバックカンファレンス」の体制作りに取り組んでいる。目的は、①病院職員が退院後の患者家族の様子を知り、実施した退院支援・調整を振り返ることで退院支援・調整力を向上させる。②患者が住み慣れた場所で安心して暮らしている様子を知ること、在宅医療・看護・介護に関する理解と知識を深めることである。

甲賀圏域 フィードバックカンファレンス開催フロー図

①フィードバックが必要と感じたケース（依頼元）



② 関連機関へフィードバックカンファレンスの依頼する

- 依頼元が病院側の場合は訪問看護ステーションへ依頼する
- 依頼元が地域側の場合は病院の地域連携室へ依頼する
- 依頼方法は電話で患者氏名・基本情報等を伝える



③フィードバックカンファレンス開催の調整

- 病院側、地域側がそれぞれの関係者と日程調整を行い、開催日・時間を決定する
- 場所：原則、病院
- 時間：30分程度



④フィードバックカンファレンスの開催

- 司会：フィードバックカンファレンスの依頼元
- 書記：病院の地域連携室職員
(甲賀圏域フィードバックカンファレンス記録用紙に記入)
- 準備資料：指定なし（口頭報告でも良い）

*甲賀圏域地域連携検討会でフィードバックカンファレンスの実施報告をする(病院側)

*ケースの例

- ①急な退院で退院調整が不十分のまま退院した患者
- ②退院指導や調整において気になっている患者
- ③退院後の生活が気にかかる患者
- ④病院の退院指導が在宅で活かされなかったケース
- ⑤在宅に戻れて患者が生き生きされているケース
- ⑥在宅看取り 等

作成：2018年10月

甲賀圏域地域連携検討会